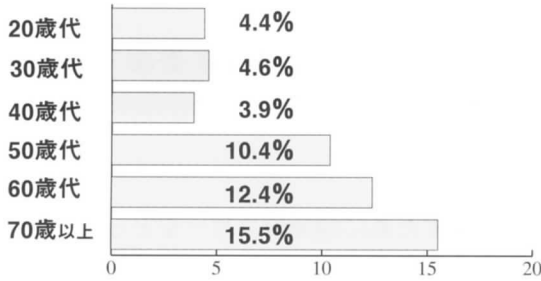
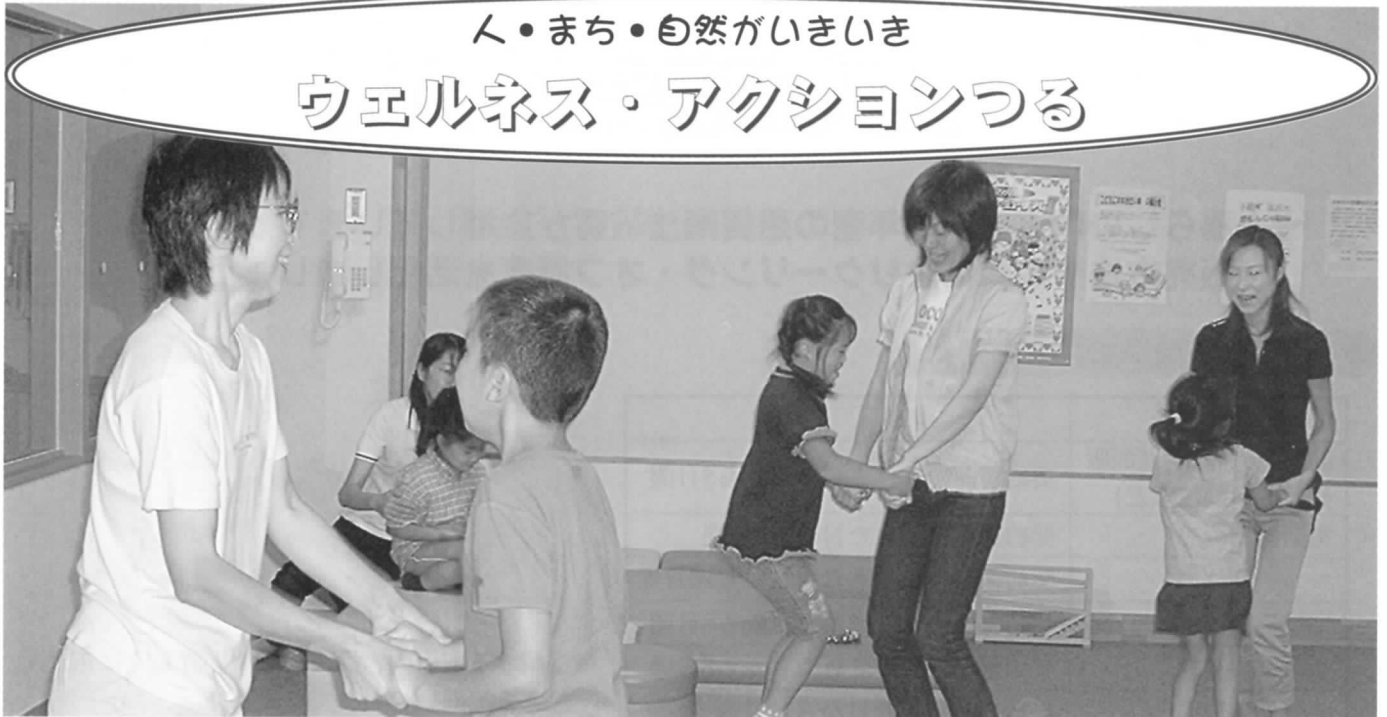
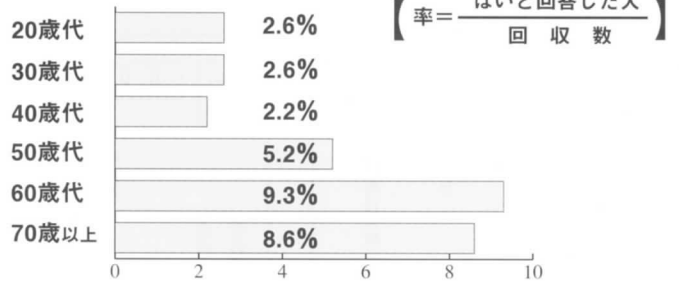


ウェルネス・アクションつる



●障害者(児)が社会の中で認められ尊重されていると思う人の割合



●障害者(児)が外出する時、周囲の人の手助けを得やすいと思う人の割合

【率= $\frac{\text{はいと回答した人}}{\text{回収数}}$ 】

問合せ 健康推進課 保健指導担当 ☎(46) 5113 (内線124)

参加者の声
 私たちの子は五歳半になる男の子ですが生後すぐにけいれんが出たため、あちらこちらの病院に入院し治療を続けていました。三歳になり何とか家での生活が始まった頃、この会に参加させて頂くようになりました。病院にいたころと同じように身近に相談できるお友達が出来、本当にうれしく日々の活力になっています。そんな中で子どもは富士吉田市のマザースホーム(障害児の通う保育園)に週一回通っていましたが「近くだったらもっと頻繁に通えるかな」という思いから市内にある保育園にご理解いただき登園させて頂いております。四・五月は休みがちでしたがお陰様で最近ほとんど休まずに通えるようになりました。意欲も出てきたようでびっくりするくらい成長しています。身近に障害児がいる、それが普通である地域であってほしい。こんなことも天使の会では話題に出ます。
 子どもを育てていく過程で悩みはつきものです。同じ悩みを持つお母さん方の意見を聞くことができ、福祉の専門家や保健師に相談のできる毎日心から感謝しています。

参加者の声
 都留市に同じような障害を持つ子どもたちはいないのかなあーとわが子が生まれてから常々思っていました。そんな時、保健師のはからいで「天使の会」が発足しました。年齢、病気、障害の程度は様々ではありますが、共通の悩み、思いがあります。ややもすると孤立してしまいがちな私たちではありますが、会としてつながりが出来ることでとても心強かった事を覚えております。「天使の会」を通して「共生」「チョボラの浸透」「通所施設のあり方」など都留市の皆様に少しでも興味を持ち理解していただけたらと思っています。また、現在悩みを持ちながら在宅で過ごしていらっしゃる方がいましたら気軽に「天使の会」に参加してみませんか。話をすると気持ち楽になりますよ。お待ちしております。

天使の会による活動
 障害を持つ子どもたちの日常生活に関する生きた情報交換の場として、月一回「天使の会」を開催しています。その中では子どもを育てる上での問題への対処方法や地域の障害者に対する理解をどう深めるか、様々な福祉制度や研修会の情報交換などの話し合いが進んでいます。具体的には勉強会の企画、菜園作りと収穫祭、会報誌の発行と内容は盛りだくさんです。また、今年はいきいきプラザ都留にある*「おもちゃ図書館」の活用についても検討され、夏休み期間中におもちゃ図書館でサマースクールを開設しました。サマースクールはお母さん方が企画、運営し主任児童委員、こぶたの会、地域の個人ボランティアなど多くの力を借りながら実施されました。
 子どもの発達のことでも悩んでいる、同じ障害を持つ親と話したいと言う方、身近に力強い仲間がいます。天使の会に参加してみませんか。また、ボランティアの募集もしています。会の活動に興味のある方はお問い合わせください。
*おもちゃ図書館とは・・・障害のある子どもたちがおもちゃで遊ぶ経験をを通じて発達を促したり社会性を高めたりする目的のための活動の場です。現在、都留市では健常児への会場の開放もしています。